

シルバーとだ



新聞ちぎり絵 内藤 美登里 会員

デジタル化推進 -----	2
着物着付教室 -----	3
はつらつとだ 職場訪問 ---	4
地域班活動 -----	6
新サークルの紹介 -----	7
お知らせ・あとがき -----	8

NO.25
2024.11発行

デジタルなんて恐くない！

シルバー人材センターのデジタル対応への取り組み

世の中でデジタル化という言葉が使われるようになって久しい昨今です。当センターにおいてもスマートフォンを使用する会員が増え、令和5年度アンケート調査結果では7割の会員が所持しているとの回答がありました。その一方で、使用については電話やLINEなど一部にとどまっている方も一定数おられます。そこで、会員をはじめとした高齢者の方をサポートするための取り組みを紹介いたします。

スマホの楽校



イメージキャラクター
らくちゃん



令和4年度より会員が講師となってスマートフォンの使い方を教える「スマホの楽校」を開催しております。会員でない方も受講できます。文字入力やLINEの使い方など初めてスマートフォンを使用する方でも安心して参加できる入門コースとSNSやスマホ決済などスマートフォンをより便利に使いこなすことを目指した実践コースをご用意しております。また決まったカリキュラムを実施するだけでなく、毎回必ず質問の時間を設け、受講者の方がスマートフォンの操作で気になることを自由に聞くことができます。

スマートフォンの画面をスクリーンに映して会員が実演し、わからなくなってしまった場合はマンツーマンでサポートをしています。

会員コミュニケーションツール「Smile to Smile」の導入と普及



今まで会員へは郵送による情報伝達をしておりました。そこで求人情報やイベント情報、就業した明細履歴など会員が知りたい情報を素早く伝えることを目指し、会員コミュニケーションツール「Smile to Smile」を導入いたしました。

シルバー人材センターで登録会を毎月2回以上行っています。登録会はデジタルに詳しい会員がサポートしていきませんが、「Smile to

Smile」普及に先行して取り組んでいる相模原市シルバー人材センターへの視察やデジタル推進員養成研修を受講するなど、しっかり準備をし、来場者へ登録と使い方を実際に使いながら説明をしています。



カルチャー教室 紹介

着物の文化を市民の皆さんに！

『着物着付教室』

始まりました



シルバー人材センターでは、会員が講師となって一般市民の方も受講できるカルチャー教室を開催しています。昨年からの第一弾「スマホの楽校」が好評なのを受け、今年は「着物着付教室」がスタートしました。



講師の皆さん

講師は着付けの資格を持つ方をはじめ5名の女性会員です。これまで介護施設の催し物での着付けや成人式会場での着崩れ直しなどボランティア活動を行ってきました。その経験を活かし、着物を一般の方々に広めたいとの思いから「着物着付教室」の開催が決まりました。

最初の教室は気軽に着られる浴衣を題材にした「ワンコイン浴衣着付教室」を戸田橋花火大会当日に開催しました。この日は若い女性や母娘などの受講者6名がシルバー人材センターに集まりました。

まず、講師によるデモンストレーションでは、皆さんスマホで撮影しながら、食い入るように見つめていました。続いて講師に手伝ってもらいながら実際に着てみます。基本の手順から小物の名称、着かたのポイントまで、ひとりひとりにあわせた丁寧なアドバイスを受けながら、確認ができたところで今度はひとりで着てみました。講師に見守られながら、皆さん上手に着ることができました。最後に浴衣のたたみ方を説明し、講習は終了しました。

ひとりできれいに着られた受講生の方は「このまま今日の花火大会に着ていきます」と大満足の笑顔でした。

10月からは全5回の「着物着付教室」が始まりました。こちらでも好評で来年以降の開催も計画中です。着物を着る機会が少なくなってしまった現代ですが、「着物を着ることを楽しんでほしい」「着物という日本の伝統文化を継承していく一助になれば」と語る講師のみなさんの言葉に着物文化への深い敬愛を感じました。



はつとだ 職場訪問 【学童保育室補助員派遣業務 編】



現在、戸田市内各小学校の学童保育に9名の会員を派遣しております。今回は未経験の仕事に飛び込んで、年代の異なる人々と互いを尊重し合いながら日々を過ごしておられる、尾松恭子会員にお話を伺いました。

—シルバー人材センターに入会したきっかけは？

【尾松】以前からシルバー人材センターを知ってはいたのですが、コロナ禍に、市の広報誌の折込みやホームページなどを見て、近隣で活動したい、戸田でもっと知り合いができればいいなと思い入会しました。

—学童保育の仕事を選んだ理由は何ですか？

【尾松】シルバーから紹介されたのがきっかけです。学童については孫を迎えに行ったとき初めて知りました。子ども関係の仕事の世界には入ったことがなかったのですが、今までとは違う経験ができるかなと、やってみることにしました。

—どこの学童で働いているのですか？

【尾松】就業しているのは笹目東小学校です。市役所から派遣された指導員3人と補助員3人の計6人体制です。

—就業前に、何か講習会を受けるのですか？

【尾松】講習会はないですが、指導員や他の補助員の方が仕事内容をしっかり教えてくれます。また就業中には指導員と補助員が情報を共有し、学童としての対応を教えてくれます。

学童保育の仕事について



—仕事の内容はどのようなものですか？

【尾松】学習については、子ども達が宿題をする様子を見守ることですね。

子ども達はなかなか黙って座ってやるのが難しいんですよ。他の子のパソコンに手を出したりとかするから、それを注意深く見守るのも私たちの仕事です。

「自分のことをやろうね！」ってね(笑)

暑い時期は、宿題が終わった後にまず室内遊びです。絵を描いたり塗り絵をやったり、トランプなどのゲームをしたり、ブロックとか積み木でいろいろ作って遊んだり。全体を見ないといけないので、なるべく一人の子だけと遊ぶのは控えるようにしています。それからおやつを食べて、夕方に校庭で外遊びをして、戻ってきたら帰る用意をさせます。





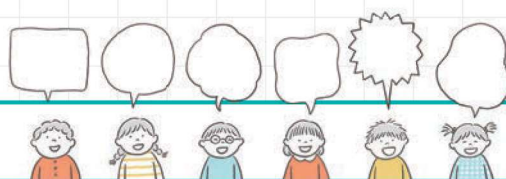
—注意していることや遊びとかでケガをしたときの対処は？

【尾松】 あらかじめ、ご家族などからお子さんのアレルギーなどの注意点を聞いており、それらの情報を把握しています。遊びのなかで起きたケガについての保護者対応は、指導員の方々が行っています。擦りキズなどの軽いケガの場合は、補助員も傷の処置を行い、親御さんと指導員に報告しています。

—子育て経験が役に立ったことはありますか？

【尾松】 私は教育ママでもないし、それほど細かい子育てをしたほうではないですけど、それでも何十年ぶりに子どもたちと接してみて、なんとなく「この子はこんなときに声をかけて欲しいのかな」とわかるのは、子どもと接するときのツボが自然に身についているからだと思うので、とても役に立っていると思います。

ボが自然に身についているからだと思うので、とても役に立っていると思います。



仕事をやってみて変わったこと

—子どもたちから学んだことはありますか？

【尾松】 子どもたちも十人十色で個性があります。まだ自分をコントロールできない子ども達は、自分の感情を素直に表現します。社会の中で、自分を抑えるということだけではなく、自分らしさを上手に表現していけたらいいなと、子どもたちを見ていて感じます。子どもたちも周りから学んでいくと思うので、コミュニケーションをしっかりとることは、大人も子どもも、大事ななと感じます。

—学童の仕事を通じて、何か変化はありましたか？

【尾松】 一つは、先ほど話したような精神的な触れ合いをより大事にするようになりました。もう一つは、学校や教育、子育て支援とか、その設備や団体、施策とかに関心を持つようになり、視野が広がりました。

—この仕事でうれしかったことは？

【尾松】 やはり、子どもたちとのコミュニケーションを積み重ねて、信頼関係ができたかなと思えるときですね。少しずつ、いろいろな場面で声をかけるようにしていて、それが積み重なって、全然話してくれなかった子が自分のほうからやってきて一生懸命話してくれたりとか、そういうときはやっぱり、うれしいですね。

—この仕事に興味を持っている人にひと言

【尾松】 学童の仕事は、人生経験が豊かで健康で体を動かせる年配者であれば、結構向いている仕事かもしれません。子どもたち相手の仕事なので大変なこともありますけど、楽しい瞬間もたくさんあります。子どもたちや若い先生方と接していると、気持ちも若返りますよ。



地域班活動

『児童見守り活動』



上戸田



高齢者がピンクのベストを着用し、黄色い旗をもっている姿を見たことはありますか？

当センターでは、会員が子ども達の登下校時に通学路の交差点などに立って、安全に行き帰りができるようにボランティアで見守っています。令和元年度に戸田第二小学校で活動を始めてから、次々と他の学校での活動も行うようになり現在は市内8小学校で活動を

しています。雨の日や暑い日も活動を行います。挨拶をしてくれたり、子ども達の笑顔を見られると元気がもらえます。

また、年度末には子ども達から感謝のメッセージ等のプレゼントをいただくこともあり、より一層活動に熱が入ります。

美笹



下戸田



新曽



子ども達からメッセージをいただきました

新サークルの紹介

健康吹矢サークル

健康吹矢は、5～10m離れた円形的のめがけて息を使って矢を放ち、その得点を競うスポーツです。正しい所作を集中して行うことで心が落ち着き、腹式呼吸で矢を吹くため筋力強化につながり、姿勢を正すことで身体が整えられるといったメリットがあります。一度体験会がシルバーで開催された際の参加メンバーが「続けることが大切」と、今年3月に「健康吹矢サークル」を設立し、内田会員が会長となりました。

現在の活動は、会員15名で作法としての所作、ルール、道具の扱い方等沢山のことを一人一人が会得できるように、実践を行いながら、学んでいるところです。「頭、身体、心の活性化」を他の会員の皆様に明るく楽しく伝え、広められる事を目標に活動をしています。

活動の様子を見せていただくと、とても細い吹き矢が、パチッと的に当たるときの力強い音の響きで心と身体がスキッと整うような感覚がとても新鮮に感じました。



手芸サークル「さくら」

今年の初め、シルバー人材センターからチラシで「手芸好き集まれ」の呼びかけがありました。長年、趣味で手芸をやっている方や興味を持っている方などが5名以上集まり、正式に4月に発足しました。

手芸といっても範囲が広いので、まずみんなで一緒にできるものはなんだろうと話し合った結果、「折り紙」を作ることとなりました。折り紙歴何十年の金塚会長のアドバイスを受けながら、メンバーそれぞれが好き

きな色紙を使い折り紙に挑戦しています。完成した作品をみて、どのような折り方になっているかを探るのは、かなり頭の体操にもなるし手指の運動にもなります。老化防止にも良いですよ。

手を動かす細かい作業になれているのか覚えが早い。指先を動かしながら、おしゃべりを交わす楽しい時間を皆さん過ごしていました。メンバーの作品の一部が事務所に展示されています。興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください。



ほかにも様々なサークルがあります。どのサークルも初心者歓迎です。皆さまのご参加をお待ちしております。

やりたいことがきっとある！ まずは入会説明会へ



●入会説明会日程

戸田市在住で原則 60 歳以上の健康で働く意欲のある方ならどなたでも入会できます。
まずは入会説明会へご参加ください。(会場はすべてシルバー人材センター、予約不要です。)

11月15日(金)・12月6日(金)・1月8日(水) 14時～

11月18日(月)・12月9日(月)・1月9日(木) 10時～

当日入会申込も可能です。筆記用具、身分証明書をお持ちになってお越しください。

また web 入会説明会もございます。ホームページをご覧ください。

賛助会員紹介

- 和食レストラン とんでん戸田中町店 様
 - 天然戸田温泉 彩香の湯 様
- 今後ともよろしく願いいたします

あしがき

今年は元日から災害があり、夏も異常な暑さとゲリラ雷雨が続きました。そんな大変な

年ですが、大谷選手やパリオリンピック・パラリンピック代表選手の活躍は、一服の清涼剤、救われる思いです。

さて、戸田市では e-Toda プラン (IT を活用した便利で快適なまちづくり) がすすめられ、市からの情報ツールも紙からデジタルへとなりつつあります。

シルバー人材センターでも、記事のとおり今年度から「Smile to Smile」というスマホで利用できる会員向けコミュニケーションツールの運用が始まり、また全市民向けにスマホ講座も開催しております。



シルバー戸田 25号は私たちが作りました (広報委員会)



【電車】埼京線「戸田駅」より約 700 m 徒歩 10 分

【バス】①西川 62・蕨 54 「戸田翔陽高校」より 約 500 m 徒歩 7 分



公益社団法人

戸田市シルバー人材センター

TEL 048-434-0411
FAX 048-434-0412

〒335-0021 埼玉県戸田市大字新曽933-2

【営業時間】月～金(土・日・祝祭日休) 8:30～17:15

【メール】 toda@sjc.ne.jp

【ホームページ】 <https://webc.sjc.ne.jp/toda/index>

戸田市シルバー人材センター

検索

